

長崎県における食中毒病因物質の概要 (2021年度)

山口 結奈, 右田 雄二, 高木 由美香, 松本 文昭, 中峯 文香, 井原 基, 吉川 亮

Prevalence and Etiological Agents of Food Poisoning in Nagasaki (2021)

Yuina YAMAGUCHI, Yuji MIGITA, Yumika TAKAKI, Fumiaki MATSUMOTO, Fumika NAKAMINE
Motoki IHARA and Akira YOSHIKAWA

キーワード：食中毒、カンピロバクター属菌、ノロウイルス、アニサキス
Key words : Food poisoning, *Campylobacter* spp., Norovirus, *Anisakis*

はじめに

1997年5月30日の食品衛生法施行規則改正でノロウイルス (2003年8月29日同規則改正で小型球形ウイルスから名称変更) 及びその他のウイルスと腸管出血性大腸菌 (VT産生) が、1999年12月28日には同規則改正によりコレラ菌、赤痢菌、チフス菌、パラチフス A 菌が、2012年12月28日にはクドア、ザルコシステイス、アニサキス及びその他の寄生虫が食中毒事件票に病因物質として追加された。これらの施行規則改正により、ウイルス性食中毒が位置づけられるとともに、コレラ菌等の4菌種についても飲食に起因する健康被害発生時は、他の食中毒病因物質と同じ措置がとられるようになった。当センターでは保健所との協力体制の下、ノロウイルスおよび細菌学的検査を同時に実施している。

本報告では、2021年度に発生した本県食中毒事例で検出された病因物質について報告する。

調査方法

長崎県生活衛生課が取りまとめた2021年度の食中毒発生状況 (長崎市及び佐世保市の発生届出分含む) より、主要病因物質 (細菌、ウイルス、寄生虫、自然毒及び化学物質等) ごとに事件数及び患者数を集計した。

各々の食中毒事例について、患者からの聞き取り情報、喫食状況及び細菌検査情報を県内の所轄保健所から収集した。

結果及び考察

長崎県内では食中毒が10事例発生した。発生事

例の内訳を表1に示す。

1 細菌性食中毒

長崎市においてカンピロバクター属菌による食中毒が2事例発生した (No.1, No.3)。検査は長崎県保健環境試験所で行われた。

事例 No.1 は、保育園の園児と職員130名のうち44名が主に下痢などの症状を呈した。そのうち、11名の便からカンピロバクター属菌が検出された。原因施設は保育所内の給食施設であった。

事例 No.3 は、飲食店において提供された食事 (焼き鳥、ささみのたたき、から揚げなど) を喫食した6名中2名からカンピロバクター属菌が検出された。

2 ウイルス性食中毒

ノロウイルスによる食中毒は、県内で4事例発生した (No.5, No.6, No.7, No.8)。

事例 No.5 の原因と推定された弁当製造施設は県内の複数の施設に弁当を提供していた。県央保健所から従事者30名、有症者9名の検体及び食材8検体が搬入され、当センターで検査を実施した。その結果、従事者30名中6名、有症者9名中6名の計12名からノロウイルスG が検出された。当該12名の検体からあらためてシーケンス解析を行ったところ12名中11名からノロウイルスG .2を検出した。従事者1名から検出されたノロウイルスG は遺伝子量が少なく、解析できなかった。搬入された食材8検体からノロウイルス遺伝子は検出されなかった。

表1 長崎県内の食中毒発生状況および病因物質 (Apr.2021 ~ Mar.2022)

事例 No.	発生年月日	発生場所	摂食者数	患者数	原因施設	原因食品	病因物質	検出 / 検体数	検体	備考
1	2021/4/3	長崎市	130	44	給食施設 (保育所)	4/1に調整・提供された給食	カンピロバクター			
2	2021/10/5	長崎市	不明	1	不明	不明	アニサキス			医療機関で患者からアニサキスを抽出
3	2021/10/31	長崎市	6	2	飲食店	当該施設で調理・提供された食品	カンピロバクター			
4	2021/11/8	長崎市	2	1	家庭	サバ(刺身、シメサバ)	アニサキス			医療機関で患者からアニサキスを抽出
5	2021/11/20	諫早市	425	21	飲食店	11/19に製造した弁当	ノロウイルスG およびノロウイルスG	.2 6/9 6/30 0/8	有症者便 従事者便 食材	遺伝子量が少なく型別不能
6	2021/12/16	佐世保市	100	16	飲食店	12/15に調理・販売したサンドイッチ	ノロウイルス			
7	2021/12/20	大村市	19	5	飲食店	12/18に提供した食事	ノロウイルスG およびノロウイルスG	.2 5/18 0/3	喫食者便 従事者便	遺伝子量が少なく型別不能
8	2021/12/25	島原市	11	8	飲食店	12/24に提供した食事	ノロウイルスG	.2 8/8 1/8 1/6	有症者便 従事者便 施設拭き取り	
9	2022/1/29	長崎市	不明	1	不明	不明	アニサキス			医療機関で患者からアニサキスを抽出
10	2022/2/7	長崎市	1	1	家庭	家庭で調理したイワシの刺身	アニサキス			医療機関で患者からアニサキスを抽出

本表は、県民生活部生活衛生課の食中毒発生状況一覧表(長崎市、佐世保市発生分含む)から作成した。
病因物質の検出数は、環境保健研究センター保健科対応事例のみとした。

事例 No.6 は佐世保市内の飲食店で発生した。有症者は共通して当該施設で調理・販売されたサンドイッチを喫食していた。検査は佐世保市保健所で行われ、有症者および調理従事者の検体からノロウイルスが検出された。

事例 No.7 は大村市内にある飲食店で発生した。県央保健所から有症者を含む喫食者18名、従事者3名の検体が搬入され、当センターで検査を行った。その結果、喫食者18名中4名からノロウイルスG が、1名からノロウイルスG およびG が検出された。当該5名の検体からあらためてシーケンス解析を行ったところ喫食者1名から検出されたノロウイルスG は遺伝子量が少なく、解析できなかったが、検出されたノロウイルスG はすべてG .2であった。

事例 No.8 は島原市内の飲食店で発生した。県南保健所から有症者8名、従事者8名の検体及び施設拭き取り6検体が搬入され、有症者8名中8名、従

事者8名中1名の計9名および施設拭き取り6検体中1検体からノロウイルスG が検出された。有症者8名と従事者1名の検体からあらためてシーケンス解析を行い、施設拭き取り検体から検出されたG 遺伝子断片を用いてシーケンス解析を行ったところすべてノロウイルスG .2であった。

3 寄生虫性食中毒

アニサキスによる食中毒は長崎市保健所管内で4事例発生した。いずれも医療機関でアニサキスが確認された。

謝 辞

本調査を遂行するにあたり、種々の情報を提供していただいた長崎県生活衛生課、長崎市保健環境試験所、長崎市、佐世保市及び長崎県立各保健所の関係各位に深謝する。